ご注意：

本書は取り扱い説明書から注意文など、製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したものです。操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった場合にお使い頂く事を念頭に編集しており、正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。

尚、正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。

http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

定格DJ-P20

項目	定格
送受信周波数	422.0500～422.1750MHz（送受信） （12.5kHzステップ） 422.2000～422.3000MHz（送受信） （12.5kHzステップ）
電波形式	F3E (FM)
送信出力	10mW
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
受信感度	−6dBμ以下（12dB SINAD）
音声出力	70mW以上
消費電流	送信時　約60mA
	受信定格出力時(50mW)　約90mA
	受信待ち受け時　約50mA
	バッテリーセーブ動作時（平均）　約20mA
通信方式	単信方式
定格電圧	DC4.5V
外部電圧端子	(EIAJ規格)　定格5.5V (max.6.0V)
動作温度範囲	−10℃～+50℃
中間周波数	1st IF 21.7MHz
	2nd IF 450kHz
寸法	55(W)×100(H)×28(D)mm
	（突起物除く）
重量	185g（乾電池含む）

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル14階 ☎03-3278-5888
大阪営業所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号 新ダイビル9階 ☎06-4797-2135
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多偕成ビル7階 ☎092-473-8034

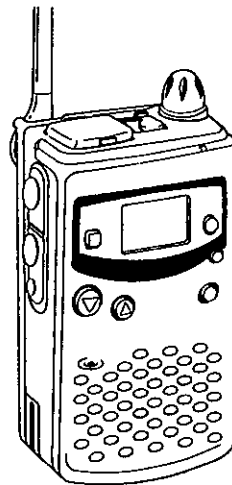
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。受付時間／10:00～17:00月曜～金曜（祝祭日は除きます）

PS0374B

ALINCO

特定小電力型ハンディトランシーバー
（郵政省技術基準適合品）

P20 取扱説明書

レジャー用9ch
ビジネス用11ch
対応

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ効果的にご使用いただくためこの取扱説明書をご使用前に最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は大切に保管して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

アルインコ株式会社

特長

1 従来のレジャー用9ch仕様とビジネス用11ch仕様と交信できる機能を装備しています。

2 グループトーク、スクランブルトーク機能で混信のない快適な交信をお約束します。

3 チャンネル番号、シグナルメーター、電池残量など見やすい照明付大型ディスプレイで表示！

4 クラス最高レベルの交信距離と、単三アルカリ電池で約58時間使用できる省電力設計です。

5 日常生活防水仕様で、携帯に便利な超コンパクトボディです。

目次

はじめに･･･

交信してみる・・・

いろいろな機能

修理に出される前に…

症　状	原　因	処　置
電源を入れても何も表示しない。	電池の入れ方が違う。	電池を正しく入れ直して下さい。(☞P16)
	電池の消耗。	乾電池をご使用の場合は新しい乾電池に交換して下さい。ニッカドバッテリー(EBN- 25 N)をご使用の場合は充電してください。
スピーカーから音が出ない。 受信しない。	相手とチャンネルが違う。	チャンネルを合わせて下さい。(☞P26)又、チャンネルがわからない時は、フリーチャンネルサーチで呼出されるのを待って下さい。(☞P34)
	グループ番号が違う。	グループ番号を合わせて下さい。(☞P30)
	相手と距離が離れすぎている。	交信距離を目安に交信して下さい。(☞P13)
	音量ツマミを左に回しすぎている。	音量ツマミを適当な位置に合わせて下さい。
	PTTスイッチを押して送信中。	PTTスイッチを離して下さい。

⚠危険

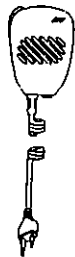
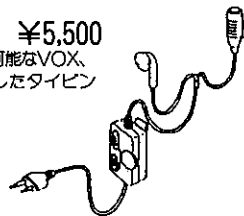
■ニッカドバッテリーの取扱いについて

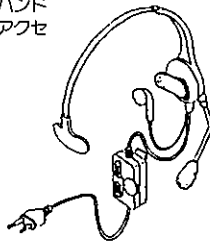
ニッカドバッテリーは、次のことを守らないと、けがや、ニッカドバッテリーを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となりますので、下記のことを必ずお守りください。

- ●充電温度範囲は、0℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- ●指定以外の機器との取り付けはしないでください
- ●端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- ●火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしないでください。
- ●専用チャージャー以外では充電しないでください。
- ●液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- ●液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

オプション

オプション(別売)でより楽しく便利にご活用いただけます。

スピーカーマイク
EMS-9 ¥4,500
無線機本体を腰に付けたり、ポケットに入れて使用する時に便利です。

タイピンマイク
EME-15A ¥5,500
ハンドフリー運用が可能なVOX、PTT両機能を内蔵したタイピンマイクです。
〈VOX機能付〉

ヘッドセット(耳のせ式)
EME-12A ¥6,500
両手がふさがったいる時にハンドフリー運用ができる便利なアクセサリーです。
〈VOX機能付〉

ヘッドセット(インナータイプ)
EME-13A ¥6,500
両手がふさがっている時にハンドフリー運用ができる便利なアクセサリーです。
〈VOX機能付〉

安全上のご注意

- ●水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- ●水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ●近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

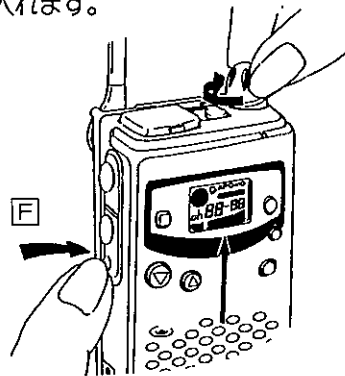
■チャージャーの取扱いについて

- ●AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ●チャージャーのACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。
- ●ぬれた手でチャージャーのACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ●チャージャーのACアダプターをACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- ●チャージャーのACアダプターの刃にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災・感電・故障の原因となります。

⑨リセット

動作がおかしい場合、キーを押しても反応しない場合は、リセットしてみて下さい。

リセット(初期化)する

[F] スイッチを押しながら、電源を入れます。

[F] を押している間は表示が全点灯します。
[F] を離すと、通常の表示に戻ります。

リセットをすると、各設定が初期化され工場出荷時の設定になります。

交信モード	基本のモード
チャンネル	レジャーch01
ベル、キーロック APO、PTTホールド ランプ	OFF
ビープ音 エンドピー音	ON
ビープ音量	小

※表示はされていませんがグループ番号は"01"です。

安全上のご注意

●ぬれた手でシガーライターケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は、危険ですから、絶対におやめください。

- ●異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ●落としたり、ケースを破損したりしたとき
- ●内部に水や異物が入ったとき
- ●ACアダプターのコードが痛んだとき（芯線の露出や断線など）

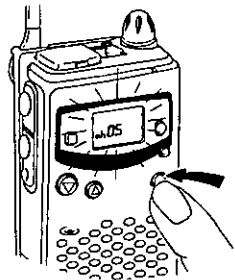
●雷が鳴り出したら、安全のため本体の電源をOFFにし、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

●本体やチャージャーのケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

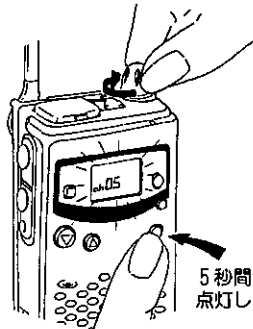
⑦ランプ

暗い場所で操作する時にディスプレイがよく見えるようにランプを点灯させる機能です。

ランプのON/OFF

LAMP LOCK キーを押します。

- ランプON中に再度 LAMP LOCK キーを押すと消灯します。
- ランプON中にその他の操作をすると、さらに5秒間点灯します。

ランプ常灯モードのON/OFF

LAMP LOCK キーを押しながら電源を入れます。

- ランプONのまま LAMP LOCK キーを押すと消灯し、もう一度押すと常灯になります。
- 上図の操作の毎に常灯モードが ON/OFFします。

安全上のご注意

■チャージャーの取扱いについて

- チャージャーのACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

- チャージャーのACアダプターを熱機具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

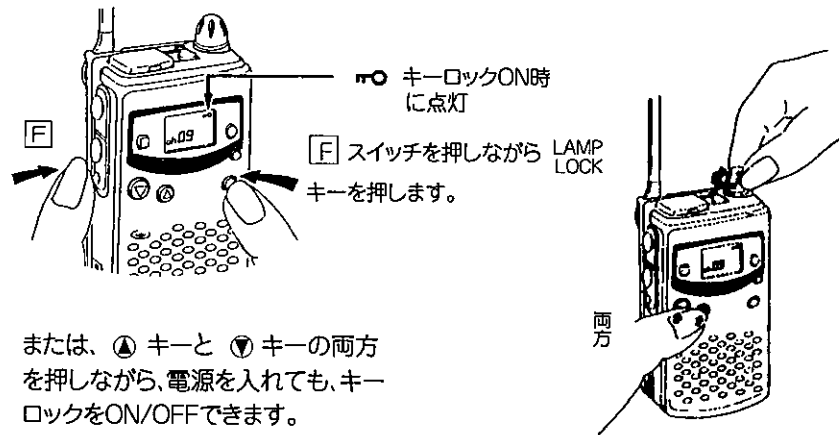
■保守・点検

- お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源OFFにして、電池をとりはずし、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

- 水滴が付いたら、乾いた布でふきとってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

⑥キーロック

キーロックしておくと、誤って設定を変えてしまうことを防げます。

キーロックをON/OFFする

または、Ⓐ キーと Ⓥ キーの両方を押しながら、電源を入れても、キーロックをON/OFFできます。

交信距離

通話のできる距離は周囲の状況によって大きく異ります。

大体のめやす

海上	3km
ゲレンデ	2km(見通しのよい所)
郊外	1〜2km
市街地	100〜200m

本機に採用されている電波は直進性が高いため、ビルや橋脚、又は山等の障害物があると、交信できる距離が短くなります。

水につけないで

本機は日常生活防水仕様になっておりますので、少々の雨や水しぶき、雪の中でも正常に機能しますが、防水設計ではありませんので上のようなご使用はお避け下さい。なお、水、雪等が付いた時は手早くふき取って下さい。

交信相手

本機が交信できるのは、弊社P8X、P9Xどちらの特定小電力トランシーバーと交信ができます。くわしくは53ページを参考にしてください。

チャンネルについて

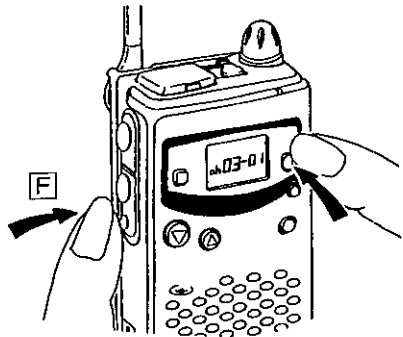
B

本機は従来のレジャー用9chとビジネス用11chの特定小電力トランシーバーと切り替えて交信することができます。
9chと11chの切り替えはP38を見てください。

④ビープ音のON/OFF

キーの操作音や呼び出し音が耳ざわりな時はこれを消すことができます。

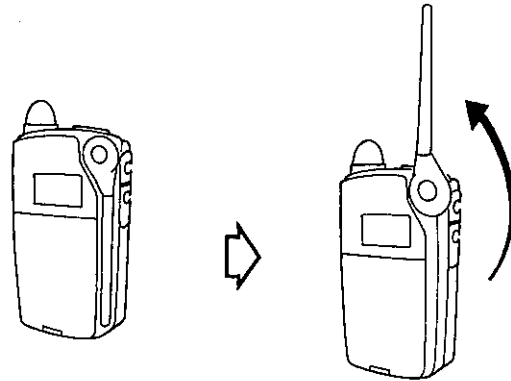
ビープ音をON/OFFする

F スイッチを押しながら SCAN/BEEP キーを押します。

設定をかえても表示はかわりません。

ビープ音OFFにしても次の音は鳴ります。

- ☞P28　エンドピー音
- ☞P29　コールトーン呼出音 ピロピロ
- ☞P36　スキャン動作中の応答音ピピッ

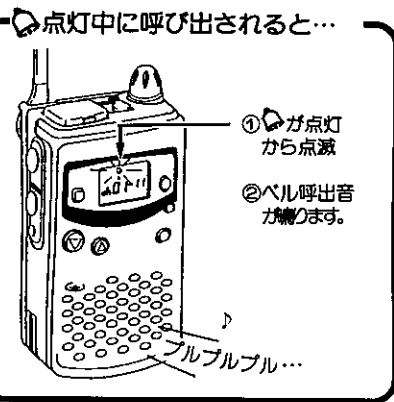
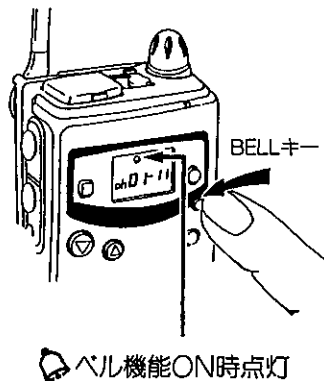
アンテナの立て方

アンテナは回転式になっています。
ご使用の際には、必ずアンテナを立てて下さい。

- アンテナを回す時はゆっくりと根元を持って回しましょう。
- ご使用にならない時はたたんでおきましょう。

いろいろな機能③

③ベル機能 呼び出されたことを表示とベル音で知らせる機能です。

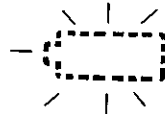
ベル機能をON/OFFする

[BELL] キーを押します。

♪ベル呼出音が必要ない時は、ビープ音をOFF（☞P46）にしておくと、ベル音は鳴らず が点滅します。

電池交換合図

電池の残容量は常時ディスプレイに3段階で表示されています。

電池容量に余裕があります。

電池が減少してきました。

電池マークが点滅したら電池を交換して下さい。

● 使用時間のめやす。

ニッカドバッテリー	マンガン乾電池	アルカリ乾電池
20時間	29時間	58時間

上記の時間は、30秒送信—30秒受信—4分待受けを繰り返した場合のめやすです。特に冬期、気温の低い時には電池寿命が極端に短くなりますので、早めの電池交換を心がけて下さい。

● 種類の違う電池や、古いものと新しいものを混ぜて使用しないで下さい。

● 長時間使用のためには、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

● 市販のニッカド電池は安全のため、ご使用にならないで下さい。

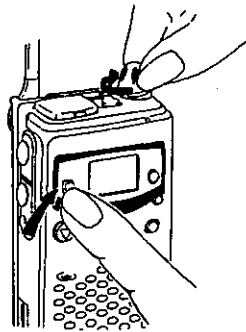
● オプションのニッカドバッテリーEBP-25Nをご使用の場合は、使用開始時にニッカドの取扱説明書をよくお読み下さい。

② 通話圏内表示機能

グループトークモードを利用して特定の相手局と交信する時に、相手が通話可能な範囲内にいるかどうかを、自動的に知らせる機能です。

準備:グループトークモードかスクランブルトークモードに設定します。また、相手局と同じグループ番号であることを確認します。

通話圏内表示機能をON/OFFする

GROUP/APO キーを押しながら、電源を入れます。

PTT スイッチを押している間はON/OFFを表示します。

ch 01-05

通話圏内表示機能OFF時の表示

01-05

通話圏内表示機能ON時の表示(chの文字が消えます)

電源/音量ツマミ
↻方向に回すと電源が入り、音量が大きくなります。
↺方向にいっぱいに回すと電源が切れます。

ハンドストラップ取付位置 (☞P14)

ベルトクリップ取付ネジ (☞P14)

電池ケース+カバー
別売のニッカドバッテリーEBP-25N(☞P55)を装着することができます。

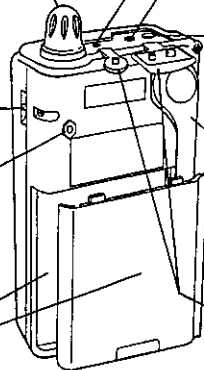
外部電源端子 ※

マイク端子 ※

スピーカー端子 ※

※は別売のスピーカーマイク等(☞P54)を接続する端子です。

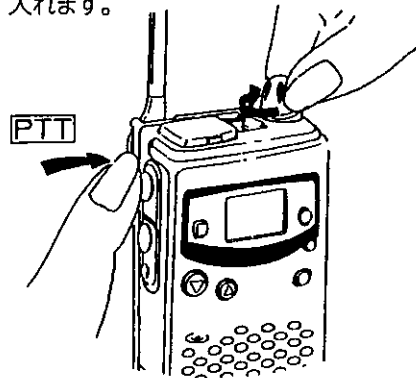
アンテナ
(立て方は☞P15)

防水キャップ
これをはずすと日常生活防水機能がそこなわれます。

①PTTホールド機能

PTTホールド機能は、PTTスイッチを一度押すと、PTTスイッチを離しても送信状態が持続する機能です。この機能により、送信時にPTTスイッチを押し続ける操作を省略できます。

PTTホールド機能をON/OFFする

PTTスイッチを押しながら、電源を入れます。

PTTスイッチを押し手いる間はON/OFFを表示します。

PTTホールド機能をON時の表示

PTTホールド機能をOFF時の表示

●操作キーの働き

キー ＼ 条件	単独で押したとき	Fキーと同時に押したとき	押しながら電源ON
SCAN BEEP ○	フリーチャンネルサーチ (☞P34)	ビープ音ON/OFF (☞P46)	ビープ音量切り替え (☞P47)
BELL ○	ベル機能 (☞P44)		9↔11チャンネル切り換え (☞P38)
LAMP LOCK ○	ディスプレイランプON (☞P50)	キーロック (☞P48)	ランプ常灯 (☞P50)
GROUP APO ○	交信モードの切り替え (☞P33)	オートパワーオフ (☞P51)	通話圏内表示機能ON/OFF (☞P42)
CHANNEL GROUP ▲	チャンネルUP (☞P26)	グループ番号UP (☞P30)	エンドピーON (☞P29)
CHANNEL GROUP ▼	チャンネルDOWN (☞P26)	グループ番号DOWN (☞P30)	エンドピーOFF (☞P29)

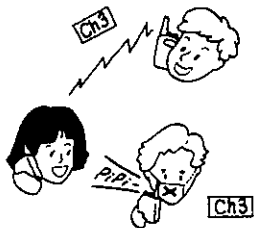
9/11チャンネルで交信する

本機は従来のレジャー用9チャンネルとビジネス用11チャンネルの特定小電力トランシーバーを切り換えて交信することができます。

1. 最初はレジャー用1～9チャンネルに設定されています。

2. BELLキーを押しながら電源を入れると
   B マークが表示され
   ビジネス用1～11チャンネルに設定変更できます。
   同じ操作をもう一度行うと
   B マークが消え、
   レジャー用1～9チャンネルにもどります。
   相手のトランシーバーに合わせて切り換えて使って下さい。

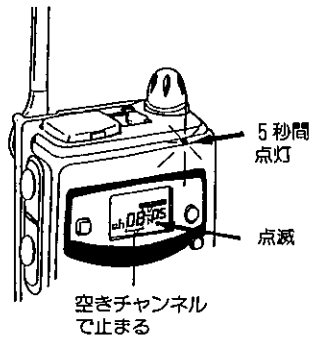
ご注意　DJ-P82、83、92、93のペアチャンネルとの交信はできません。

② 受信中は送信できません。

一定の強さの信号を受信している時は PTT スイッチを押しても送信できません。
受信中に PTT スイッチを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことを知らせます。

ご注意　ビープ音がOFFの時はアラーム音は鳴りません。

4. 相手を呼び出す

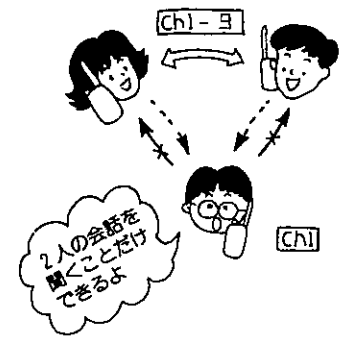
呼び出す側は、PTT スイッチを押して、送信インジケーターが点灯したら、すぐに離します。

空きチャンネルを探して、そのチャンネルで止まり、5秒間送信状態となり、相手を呼び出します。
空きチャンネルがない場合は送信できません。

5. 送信を始める

送信インジケーターが消えるのを待って、相手から応答音が返ってくると、PTT スイッチを押して送信に入ります。

5秒間、応答がなかったり、交信が5秒間途切れるとスキャンが再開します。

グループトーク（☞P30）

同じチャンネル、同じグループ番号の人とだけ交信できます。

ただし、グループ内の会話は、同じチャンネルでグループトークにしていない人にも聞こえています。

他の人に会話を聞かれたくないなら…

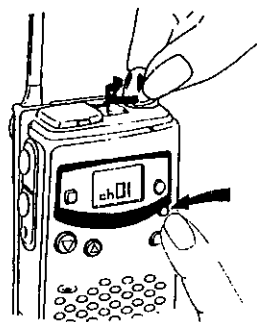
スクランブルトーク（☞P32）

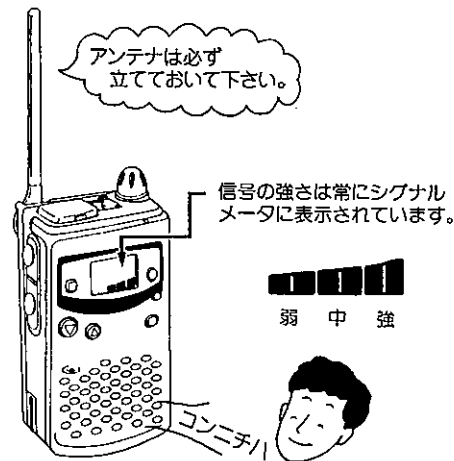
同じチャンネル、同じグループ番号でも、スクランブルトークにしていない人には会話の内容は聞きとれません。

空いているチャンネルを選択する①（フリーチャンネルサーチ）

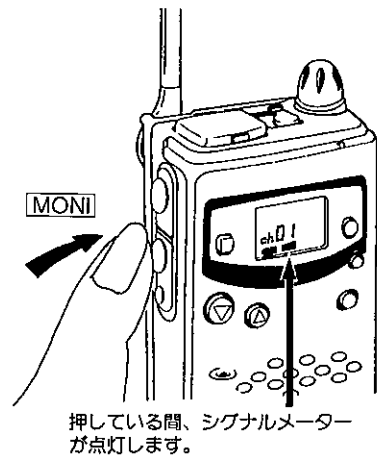
チャンネルを次々と切り換えながら、空いているチャンネルを探して交信できる機能です。（フリーチャンネルサーチ）

1.チャンネルを決める

双方のチャンネルをレジャー用1～9又はビジネス用1～11のいずれかに合わせて下さい。 （☞P38）

3.受信すると…

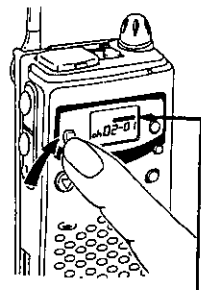
電源を入れると、受信待ち受けが始まります。
信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえてきます。

相手の声が途切れる場合

信号が弱くて相手の声が途切れる場合は MONI スイッチを押してみて下さい。聞きやすくなることがあります。

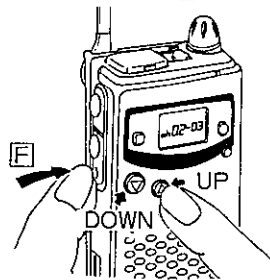
フリーチャンネルサーチ中は動作しません。 （☞P34）

スクランブルトークのしかた

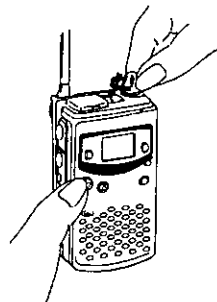
グループトークにしていても、グループトークモードにしていない人には会話は聞かれています。スクランブルトークにすると、秘話機能が働き、他のグループの人には会話の内容は理解できません。

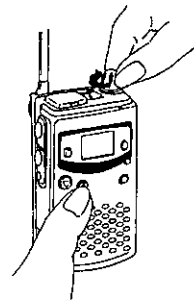
1.スクランブルトークにする

GROUP/APO キーを押して、スクランブルトークモードにします。

スクランブル が点灯します。

2.グループ番号を合わせる

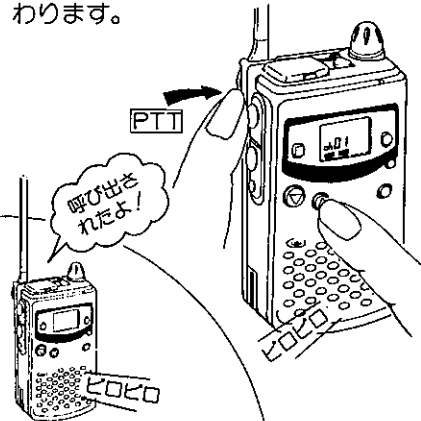
Fスイッチを押しながら、▲キーか▼キーを押して、相手と同じグループ番号を1～38から合わせます。

Fスイッチを押したまま▲、▼キーを押し続けると連続して変化します。

エンドピーのON/OFF

エンドピーの消し方

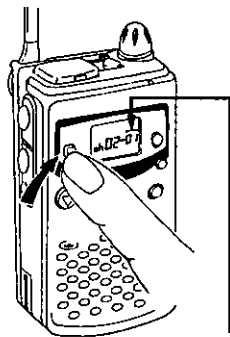
▼キーを押しながら電源を入れるとPTTスイッチを離した時のピッ音は出なくなります。

エンドピーの出し方

▲キーを押しながら電源を入れると、ピッ音は出るようになります。

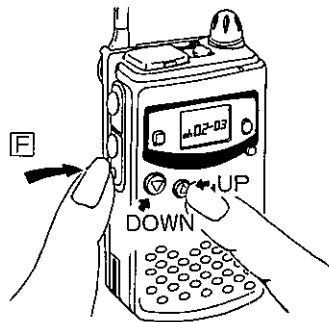
コールトーン呼出し

PTT スイッチを押した状態で▲キー、または▼キーを押すと"ピロピロ…"という呼出音で相手を呼出します。
スクランブルトーク中は呼出音が変わります。

同じグループの人とだけ交信したい時はグループトークを使います。

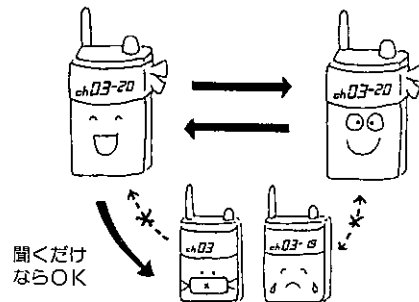
1.グループトークモードにする

GROUP/APO キーを押して、グループトークモードにします。

グループトークになるとグループ番号が点灯します。

2.グループ番号を合わせる

F スイッチを押しながら、▲キーか▼キーを押して、相手と同じグループ番号を1〜38の中から合わせます。

F スイッチを押したまま▲、▼キーを押し続けると連続して変化します。

3.送信と受信

基本の交信と同じ操作（☞P26）で送信、受信します。

同じチャンネル、同じグループ番号のもの同士のみ交信できます。ただし、グループトークにしていない同じチャンネルの人には聞かれています。

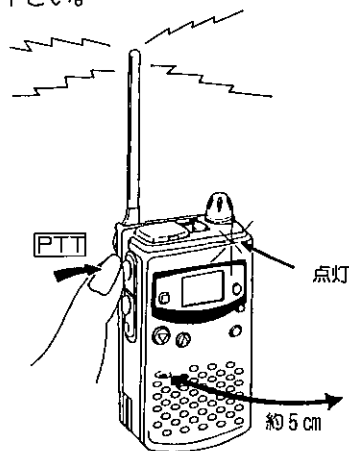
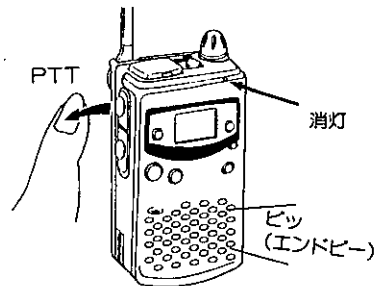
グループ・スクランブルトーク中も、相手の声は聞こえなくても同じチャンネルの電波は受信しています。

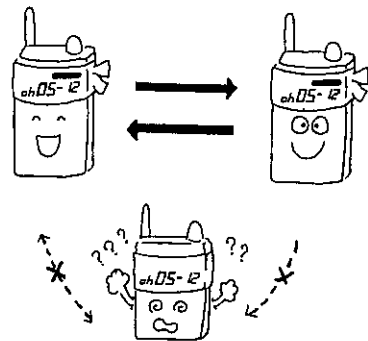
他のグループがそのチャンネルを使っていると、シグナルメーターが点灯します。

シグナルメーター点灯中は声は聞こえなくても送信できません。

基本の交信のしかた②

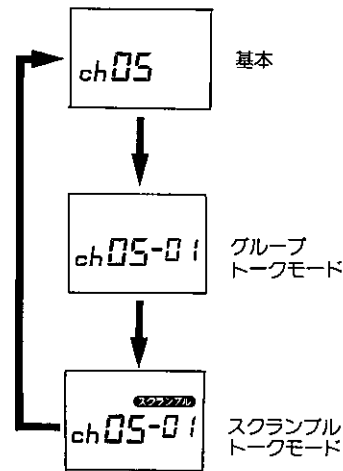
4.送信する

信号を受信していないことを確認して、PTTスイッチを押します。
送信インジケーターが赤く点灯したら、マイク部から5cm位離してお話し下さい。

PTTスイッチを離すと送信を終えて、受信待ち受け状態になります。
PTTスイッチを離した時、"ピッ"という音が鳴ります。(エンドピー)
これは送信が終わったことを知らせる合図です。受信側はこの音が聞こえると、次の送信ができます。

3.送信と受信

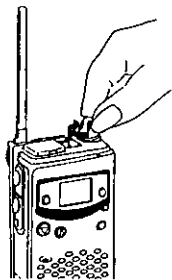
基本の交信と同じ操作 (☞P26) で送信、受信します。

同じチャンネル、同じグループ番号でスクランブルトークにしているもの同士のみ交信できます。スクランブル交信にしていない人には、声は聞こえますが、内容はわかりません。

交信モードの切換えかた

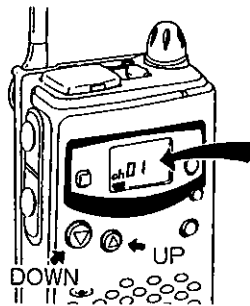
GROUP APO キーを押す度に3つの交信モードが切換ります。

基本の交信のしかた①

まずはじめに、基本の交信をマスターしましょう！

1. 電源を入れる

電源/音量ツマミを∩に回し、電源を入れます。

音量の調節は MONI スイッチを押しながら、ツマミを回すと、調節しやすくなります。

2. チャンネルを合わせる

▲または▼キーで相手と同じチャンネル(1〜9)に合わせます。

チャンネル番号が変わります。

押し続けると連続して変化します。

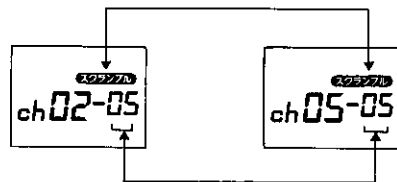
※ビジネス用チャンネル(1〜11)に切り換えて使えます。(☞P38)

※各chの周波数はP53をご覧下さい。

2. グループ・スクランブルトーク

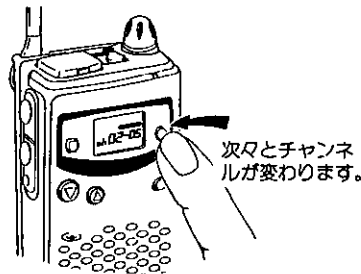
① GROUP/APO キーを押して、グループトークか、スクランブルトークにします。(☞P30)

② F スイッチを押しながら▲キーまたは▼キーで同じグループ番号に合わせて下さい。(☞P30)

①交信モードを合わせて下さい。

②同じグループ番号にして下さい。

3. フリーチャンネルサーチ開始

SCAN/BEEP キーを押すと、フリーチャンネルサーチが始まります。

3つの交信方法

基本の交信（☞P26）

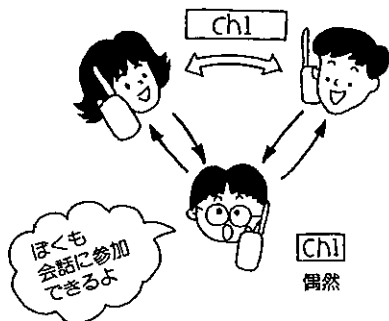
同じチャンネル番号の人は全て交信できます。

ch1～9

最初は、レジャー用1～9チャンネルに設定されています。

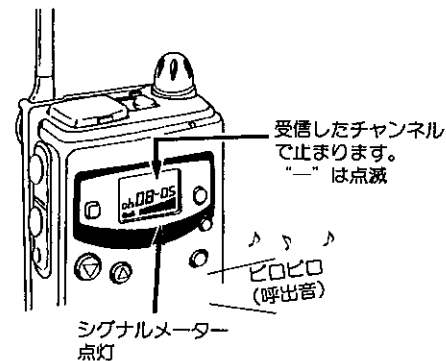
ch1～11

切り換えてビジネス用1～11チャンネルの特定小電力トランシーバーと交信ができます。
（☞P38）

周波数構成が同じ他の特定小電力トランシーバーと交信できます。
チャンネルを合わせるだけで交信できますが、同じチャンネルの他グループの声も聞こえます。

レジャー用1～9チャンネル設定機とビジネス用1～11チャンネル設定機との交信は出来ません。

他のグループの声がわずらわしいなら…

6. 呼び出されると…

スキャン中に信号を受信すると、ピロピロ音が鳴り、受信したチャンネルで止まります。その後、相手からの信号を受信しますので応答して下さい。

交信が5秒途切れると、スキャンが再開します。

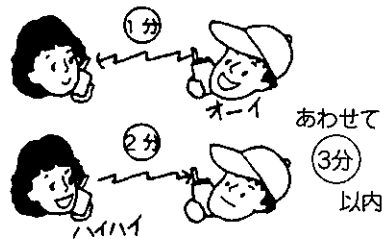
7. フリーチャンネルサーチ終了

SCAN/BEEP キーを押すとスキャンは終了します。

※どのチャンネルで止まるかは不定です。

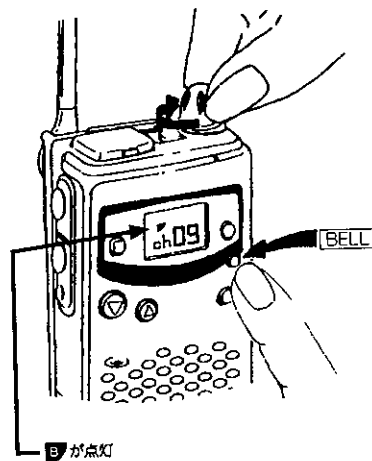
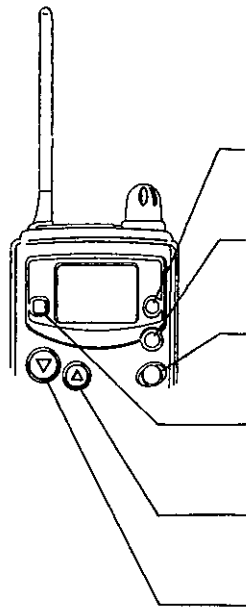
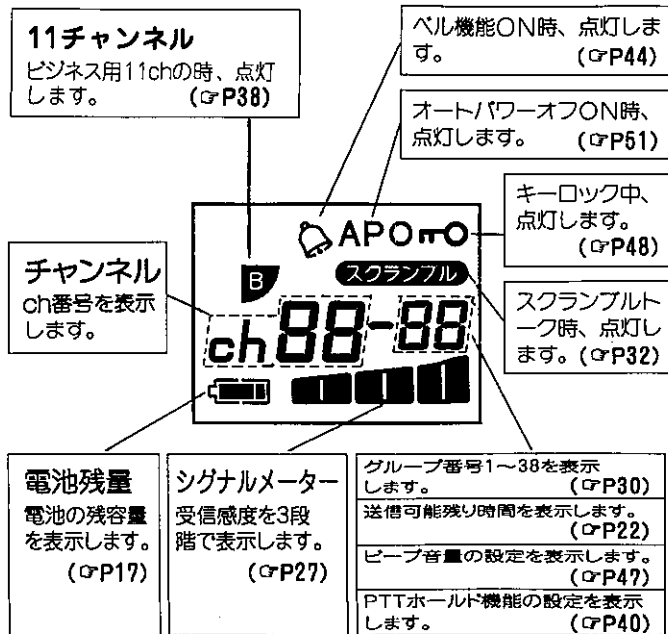
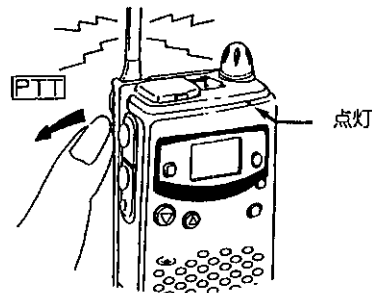
- 呼出しを受けた時のピロピロ音はビープ音がONの時のみです。（☞P46）
- フリーチャンネルサーチ動作中に電源を切っても、次に電源を入れた時は続いてフリーチャンネルサーチ動作になります。
- 基本の交信モード中は動作しません。

一定の時間以上は連続で交信できません。

送信、受信を合わせて 3 分以内です。

10秒前に警告音が鳴り、同時に残り時間のカウントダウン表示が始まります。
交信時間が合計3分になると自動的に交信は停止します。

3分の交信時間制限により、自動的に交信が止まった後は、2秒たたないと次の送信は出来ません。
2秒以内に [PTT] スイッチを押してもアラーム音が鳴り、送信できません。
また各アラーム音が鳴るのはビープ音がONの時のみです。

(☞P46)

各部のなまえと働き②

●ディスプレイ

● PTTスイッチを一度押すと送信状態が持続しますので、そのままマイクに向かって話して下さい。

● もう一度押すと送信が切れ、受信状態になります。

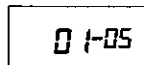
ご注意

●オプションマイクでは、この機能はご使用になれません。

●3分の交信時間制限により、3分送信すると自動的に2秒間待ち受け状態になり、その後送信を再開します。

各部のなまえと働き①

PTTスイッチ PTT
送信する時は、このスイッチを押しながら、マイクに向かって話します。

モニタースイッチ MONI
相手の声が途切れる時に使います。
(☞P27)

ファンクションスイッチ F
このスイッチと一緒に各操作キーを押すと、ファンクション動作します。
(☞P21)
また、このスイッチを押しながら電源を入れると、各設定がキャンセルされ初期化されます。
(☞P52)

アンテナ

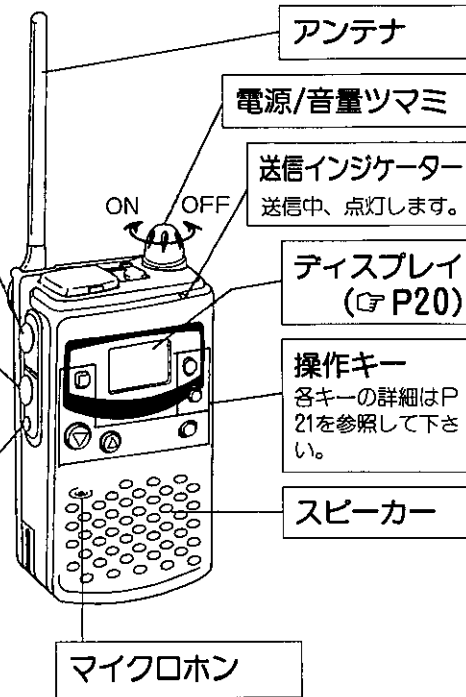
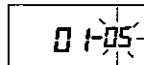
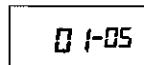
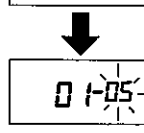
電源/音量ツマミ

送信インジケーター
送信中、点灯します。

ディスプレイ
(☞P20)

操作キー
各キーの詳細はP21を参照して下さい。

スピーカー

マイクロホン

通話圏内表示機能ON時の動作

● 相手局が「通話圏内」の場合。

01-05　グループ番号が点灯します。

● 相手局が「通話圏外」の場合。

01-05　グループ番号が点滅します。

● 相手局が「通話圏内」から「通話圏外」へ移動した場合。

01-05

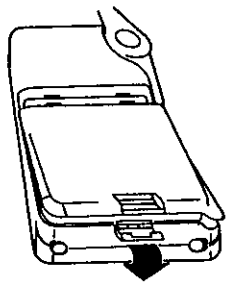
01-05　グループ番号が点灯から点滅にかわり、告知音(ピピピッ)が鳴ります。

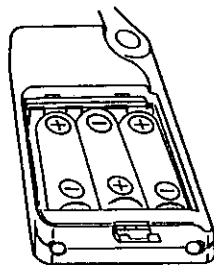
ご注意

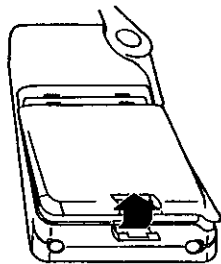
● 通話圏内表示機能は、グループトークモード又はスクランブルトークモードの時のみ有効となります。

● 次の場合は、通話圏内表示機能が強制的にOFFになります。
- フリーチャンネルサーチ機能をONにした場合
- グループトークモード又はスクランブルトークモードをOFFにした場合
- MONI スイッチを押している間は動作しません。

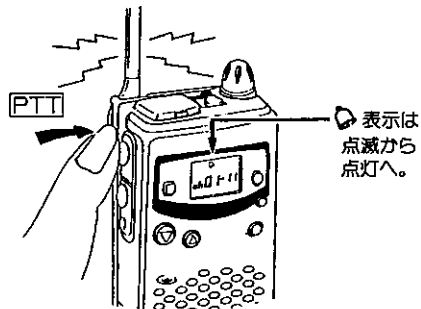
電池の入れ方

1. 電池カバーを開ける

ロックをはずすと電池カバーが開きます。

2. 電池を入れる

ケース内の＋－の印どおりに新しい単３型乾電池を３本入れて下さい。

3. カバーを閉める

はじめにツメを合わせてカバーを閉め、ロックをかけます。
きちんと閉まったことを確認して下さい。

点滅中の操作

- PTT を押して送信すると は点灯に戻ります。

- BELL キーを押すと は消灯します。
- 電源を切ると次にONした時は点灯になります。

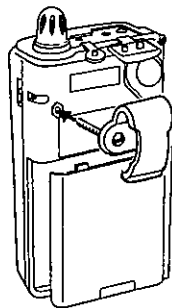
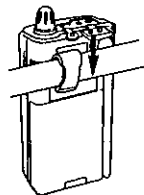
◆ベル機能をONにしておくと、呼び出されると表示が残りますので、トランシーバーから離れていても呼出しがあったことがわかります。

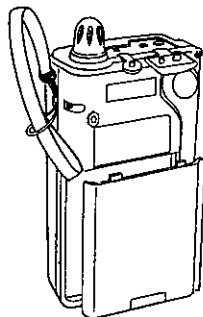
◆グループ交信やスクランブル交信と併用して特定の相手からの待ち受けに便利です。

開梱しましたら付属品の確認をして下さい。

- ●ベルトクリップ
- ●ハンドストラップ
- ●取扱説明書
- ●保証書

ベルトクリップのつけ方

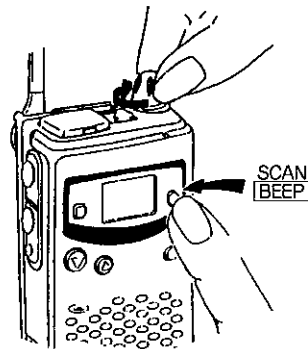
ベルトクリップ取付穴にネジを合わせコインなどで取り付けます。

ハンドストラップのつけ方

ハンドストラップ取付穴に通します。

⑤ビープ音量の切り換え

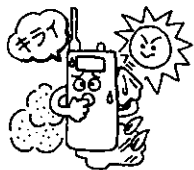
キー操作音や呼出音を大きくすることができます。

ビープ音量を切り換える

SCAN/BEEP キーを押しながら、電源を入れます。

SCAN/BEEP キーを押している間はON/OFFを表示します。

表示	説明
ch03- L	通常の音量の時の表示
ch03- H	音量を大きくした時の表示

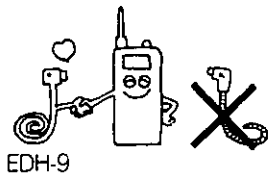
ご使用前のご注意

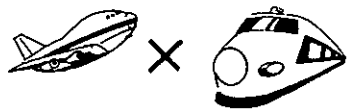
ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使い下さい。

分解しないで

改造、変更は禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないで下さい。

外部電源

EDH-9

外部電源は必ず専用のシガーDC/DCコンバータEDH18 (☞**P55**) をお使いください。

ご使用禁止場所

本機は郵政省技術基準適合品ですが、使用場所によりましては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないで下さい。
航空機内、空港敷地内、新幹線車両内など。
また、日本国内でのみ使用して下さい。

⊸O 点灯中は、以下の操作以外は無効になります。

電源、音量ツマミ
[PTT] スイッチ
[MONI] スイッチ
[F] ＋ LAMP/LOCK キー
（キーロック解除）
送信中の▲、▼キー
（コールトーン呼出し。送信中以外は無効）

◉無効操作の時には、ビープ音は鳴りません。

◉ロックしておくと、誤ってキーを押してもチャンネルやモードが変わらないので、ポケット等に入れてお使いになる場合、特に便利です。

安全上のご注意

⚠注意

■使用環境・条件

●テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

●湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取扱いについて

●アンテナを誤って目にささないようにしてください。

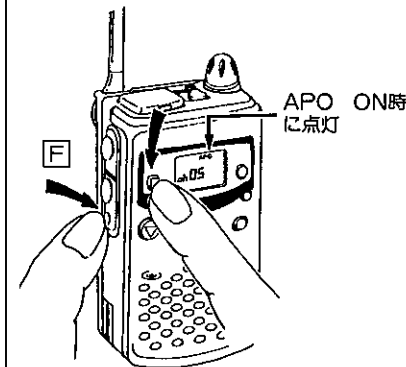
●外部スピーカー/マイクロホン端子にはオプションのスピーカー/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

●アンテナを取付けない状態で送信しないでください。火災・故障の原因となることがあります。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにし、電池をとりはずし、チャージャーをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

8 APO(オートパワーオフ) 電源の切り忘れを防ぎ電池が長持ちします。

APOをON/OFFする

F スイッチを押しながら GROUP/APO キーを押します。

APO点灯中は30分間呼出しを受けず、キー操作がなければ自動的に電源が切れます。

●ビープ音がONの時は電源が切れる30秒前にアラーム音が鳴りますので、続けてご使用になる時は何かキーを押して下さい。

●APO後、電源を入れる時は電源ツマミを○へ回して電源を切ってから再び○を回して電源を入れて下さい。

APOで電源は切れていても若干の電流は流れています。電池を長持ちさせるためにも、ご使用後は必ず電源ツマミで電源を切って下さい。

安全上のご注意

⚠警告

■安定化電源の使用について

- ●AC100V以外での電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ●安定化電源を使用するときは、ニッカドバッテリーまたは電池ケースを取り付けてください。取り付けないと、やけどの原因となります。
- ●安定化電源の電源プラグと他の製品の電源プラグをタコ足配線しないでください。
- ●ぬれた手で安定化電源の電源プラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ●安定化電源の電源の電源プラグをACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- ●安定化電源の電源プラグの刃にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災・感電・故障の原因となります。
- ●DCケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは、絶対にしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

■シガーライターケーブルの使用について

- ●DC12V車専用ですので、大型車などのDC24Vには直接接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ●シガーライターケーブルを使用するときは、ニッカドバッテリーまたは、電池ケースを取り付けてください。取り付けないと、やけどの原因となります。

付録 各chの送受信周波数

レジャー用9ch

ch1～9 (MHz)

ch	送信·受信
1	422.2000
2	422.2125
3	422.2250
4	422.2375
5	422.2500
6	422.2625
7	422.2750
8	422.2875
9	422.3000

ビジネス用11ch

ch1～11 B (MHz)

ch	送信·受信
1	422.0500
2	422.0625
3	422.0750
4	422.0875
5	422.1000
6	422.1125
7	422.1250
8	422.1375
9	422.1500
10	422.1625
11	422.1750

安全上のご注意

⚠警告

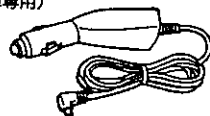
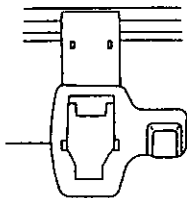
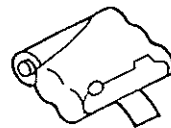
■使用環境・条件

- ●交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。
- ●電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因ととなります。
- ●液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ●航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用や放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。
- ●この製品を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。

■トランシーバー本体の取扱いについて

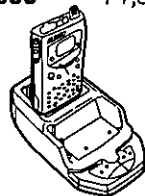
- ●長時間の連続送信はしないでください。発熱のため本体の温度が上昇しますので、やけどをしないようにご注意ください。
- ●このトランシーバーは調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- ●イヤホンを使用する場合、電源を入れる前に、音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。
- ●布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

シガーDC/DCコンバーター
EDH18 ¥3,800
車のシガーソケットから5.5Vを取り出すアダプターです。
24V車には使えません。
（12V車専用）

モービルブラケット
EBC-6 ¥1,800
車の中で使用する時に、本体をドアに取り付けるためのブラケットです。

ニッカドバッテリーパック
EBP-25N ¥1,900
繰り返し充電して使用できるバッテリーパックです。

イヤホンマイク
EME-20 ¥3,400
ＰＴＴ機能のみのタイピンマイクです。

プチ型イヤホン
EME-6 ¥1,500
人混みや雑音の中でも相手の声を明瞭に受信できます。

ソフトケース
ESC-27 ¥1,600

ツイン急速バッテリーチャージャー
EDC-109J ¥7,800

トリクルバッテリーチャージャー
EDC-115 ¥ 2,300

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読み下さい。

絵表示について　この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

○記号は、行為を禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをAC コンセントから抜け）が描かれています。

送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなるのを待って送信するか、チャンネルをかえて下さい。
	交信制限時間を超過	ＰＴＴスイッチを離し、２秒たってから、再度送信して下さい。
	ＰＴＴスイッチを押しながら電源を入れた。	ＰＴＴスイッチを押し直して下さい。
何も聞こえていないのに送信ができない。	同じチャンネルを別のグループが使っている。	フリーチャンネルサーチで空いているチャンネルを探して下さい。（☞P34）
どのキーを押しても設定が変わらない。	キーロック状態。	キーロックを解除して下さい。（☞P48）
チャンネルスキャンがスタートしない。	グループ、スクランブルモードになっていない。	グループ又はスクランブルトークモードにして下さい。（☞P33）

◆上記の処置をしてもなお異常が続く場合は、P52を参考にリセット(初期化)してみて下さい。

◆電池が激しく消耗していると、まれに誤動作することがあります。
動作がおかしい時、ディスプレイの電池マークが点滅していたら、電池を交換してみて下さい。正常な状態に戻ることがあります。